

オーストラリアの金利引き下げについて

2012年10月3日

10月2日、オーストラリア準備銀行は政策金利を0.25%引き下げ、それまでの3.50%から3.25%としました。政策金利の変更は今年6月以来、4カ月ぶりとなります。

《予想外の政策金利引き下げ発表》

今回の0.25%の政策金利引き下げは、市場では据え置き予想が大勢を占めていただけに予想外の引き下げとなりました。このため、発表直後のオーストラリアドルは米ドル、円などの主要通貨に対して下落しました。

オーストラリア準備銀行は、利下げ判断の理由として、①世界経済見通しの悪化、②国内景気の鈍化、③インフレ圧力の緩和を挙げ、特に①の世界経済見通しの悪化の中で、オーストラリアの主要輸出先である中国の経済成長について先行き不透明感が増しているとしています。

《今後の見通し》

●政策金利

今回の利下げにより、オーストラリアの政策金利は過去最低水準である3.0%に近づいています。しかし現在のところ国内ではインフレ(物価上昇)懸念はなく、米国の追加緩和、欧州や中国などの景気減速もあることから、追加利下げの可能性もあるとみています。

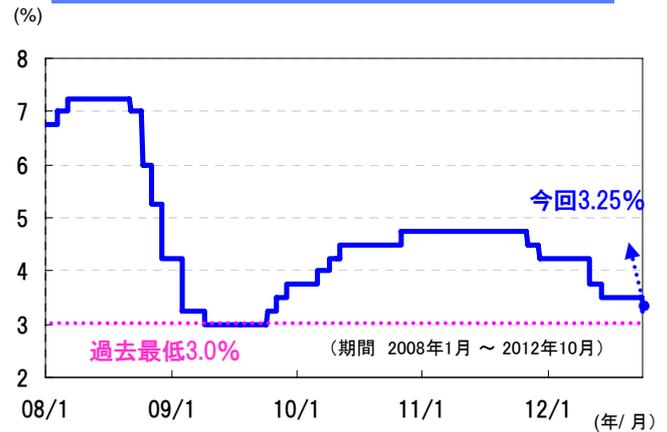
●景気

2012年第2四半期(4-6月期)の実質GDP成長率は、前期比+0.6%と鈍化しました。資源開発投資の伸び率鈍化、中国景気の先行き不透明感などの不安要素もありますが、国内では機動的な金融政策が実施されていることなどから、オーストラリア景気は下支えされると思われます。

●為替見通し

オーストラリアドルは、今回の利下げ後も他の先進国と比べて金利水準が高いこと、同国の国債格付がAAAと信用力が高いことなどから、投資先としての魅力は依然高いと考えられます。主要先進国の金融緩和が当面続くことを想定すれば、資金流入も期待でき、今後も底堅く推移すると考えられます。ただし、オーストラリアドルがやや買われ過ぎとの見方もあるため、その点についてのリスクは認識する必要があります。

《オーストラリアの政策金利》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

《オーストラリアドルの対円推移》

